

第24回 旅行動向シンポジウム

日時:2014年11月5日(水) 13:30~17:45

会場:東京・大手町 大手町サンスカイルーム

<主催>



公益財団法人 日本交通公社

観光研究、観光行政、観光事業に関わる皆様へ

本年のシンポジウムでは、当財団が取り組む研究成果を発表し、実践的な視点を加えたディスカッションを展開いたします。ぜひ足をお運びください。

第1部 『旅行年報2014』報告会～我が国の旅行・観光の動向 第2部 研究セッション ◆詳細なプログラムは裏面をご覧ください。

開催概要

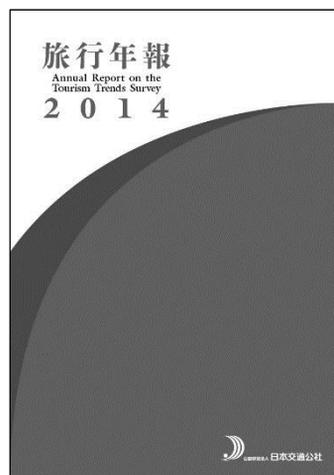
◆参加費 : 無料 (懇親会費 3,500円)

お申し込みの方には、当日会場にて、『旅行年報2014』を1部差し上げます。

◆募集人員:100名 (懇親会 20名)

※ プログラムの都合上、第2部のセッション「観光推進組織の事業と財源—自立的運営に向けて」の定員は30名とさせていただきます。

※ 本年は、シンポジウム終了後(18:00~20:00)に懇親会(会費制)を開催します。登壇者を交え、より活発な意見交換を行えればと考えております。限られた定員(20名)とはなりますが、ご参加をお待ちしております。



◆申込先 : <http://www.jtb.or.jp/> 当財団ウェブサイトよりお申し込み下さい。

◆申込締切:10月29日(水) ただし定員に達し次第締め切らせていただきます。

会場

大手町サンスカイルーム

【第1部】E室 (24階)

【第2部】B室(27階)・D室 (27階)

東京都千代田区大手町2-6-1
朝日生命大手町ビル

●東京メトロ 大手町駅 B6出口 直結

●JR東京駅 日本橋口 徒歩1分



懇親会会場:トラットリア パンピラノ サピアタワー店(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー3階)

第1部 『旅行年報2014』報告会～我が国の旅行・観光の動向（13:30～15:25）

2014年10月発行の最新版『旅行年報』の内容をもとに、「日本人の国内旅行・海外旅行」「インバウンド」「観光産業」「観光地」「観光政策」の動向について、執筆した当財団の主任研究員が解説します。

◆プレゼンター

- 「日本人の国内旅行・海外旅行」 中島 泰（観光文化研究部 主任研究員）
「インバウンド」 相澤 美穂子（観光政策研究部 主任研究員）
「観光産業」 牧野 博明（観光文化研究部 主任研究員）
「観光地」 堀木 美告（観光政策研究部 主任研究員）
「観光政策」 吉澤 清良（観光政策研究部 主席研究員）

第2部 研究セッション（15:45～17:45）

当財団の自主研究活動の中から2つのセッションを編成し、同時並行形式で開催します。

●第1セッション 「観光推進組織の事業と財源－自立的運営に向けて」（定員30名）

コーディネーター：理事・観光政策研究部長 梅川 智也

◆研究報告(1) 「観光財源を考える－財源の全体像と協力金を中心に」

観光政策研究部次長 主席研究員 塩谷 英生

◆研究報告(2) 「温泉地における安定的なまちづくり財源－入湯税を中心に」

観光政策研究部 主席研究員 吉澤 清良

◆グループディスカッション

3グループ(各グループ定員10名)に分かれ、阿寒湖・ニセコ(入湯税の超過課税とBID)、鳥羽市(入湯税の基金化)、由布市(観光新組織)からのゲストによる話題提供を踏まえ、会場の皆様とグループディスカッションを行います。

※各グループにつき、いずれかの地域のゲストが話題提供します。また、諸般の都合により、ゲスト・テーマが変更となる可能性があります。

協力：温泉まちづくり研究会

●第2セッション 「新たな観光地マネジメントの手法

～持続可能性指標を活用した協働型管理」

コーディネーター：理事・観光文化研究部長 寺崎 竜雄

◆研究報告 「持続可能な観光地のための指標開発の世界的潮流」

観光文化研究部 主任研究員 中島 泰

◆事例報告 「アイルランドにおける指標を活用した協働型管理の現状と課題」

観光文化研究部 主任研究員 五木田 玲子

◆ディスカッション 「持続可能性指標を活用した観光地の協働管理の可能性について」

沖縄県座間味村 村長 宮里 哲 氏
(株)日光自然博物館 営業部係長 森田 孝道 氏
東京農工大学大学院農学研究院 教授 土屋 俊幸 氏
環境省国立公園課 課長補佐 長田 啓 氏

協力：自然公園研究会、環境省「環境研究総合推進費」